

第9回コンクール大賞審査委員特別賞の選考について

「わが村は美しく一北海道」運動が目指す姿とは、幾世代にも渡り営まれてきた農林水産業の健全な生産活動によってもたらされる「景観」、「地域特産物」、「人の交流」という3つの要素が、相互に関連し合いながら全体として調和を保ち、総合的に地域住民の生活に溶け込んで形成される「豊かさ」が醸し出す「美しい農山漁村」である。

この観点から第9回コンクール大賞審査において、優秀賞13団体の中から先導性、モデル性の高い活動内容を含む2団体を大賞として選考したところである。

近年、北海道の農山漁村においては過疎化や少子化・高齢化が進んでおり、地域が理想としている活動の継続が危惧されている。このような状況から、全道各地の地域資源の魅力に気づき活動している諸団体の参考となり、また、今後とも継続した活動が期待される2団体について、第9回コンクール大賞審査委員会は、「第9回コンクール大賞審査委員特別賞」として表彰し、下記のように選考するものとした。

審査委員特別賞

団体名:北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班(中標津町)

地域内で食農教育を推進し、食へのありがたみと感謝の心を「北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班」

本校では、「農業高校生として地域に出来ることをしたい」という生徒の意見から始まった食育活動「計根別食育学校」を行っている。

これは、地域産業である酪農・農業に興味を持ってもらい、「食」へのありがたみと感謝の心を持った子どもたちを育てるためのものであり、そしてこの様な子供たちが少しでも増えるように願ってスタートした活動である。計根別地域の幼稚園、義務教育学校と連携を図り、13年間にわたりこの地域の全ての子供たちを対象として食育活動を継続している。

長期にわたる活動のため地域住民の理解が非常に高く、地元の人たちと強く結びつ

いている。こうした将来の農山漁村を担う高校生が、幼稚園から義務教育学校まで途切れずに一貫して計画的にプログラムされた食育の取組は、高く評価できる。

また、イベントのため、耕作放棄地にカボチャを植える取組は、耕作放棄地の発生を予防するとともに、景観形成にも役立っている。

今後も、この活動が次の世代の子供たちにも継承され、より多くの住民参加のもと、更なる地域活性化に繋がる取組みとなるよう期待したい。

審査委員特別賞 団体名：歯舞地区 マリンビジョン協議会（根室市）

漁業振興と都市漁村交流を展開・地域社会の活性化を目指す「歯舞地区マリンビジョン協議会」

本協議会は、地域住民、関係企業の意識改革を促し、地域を活性化するため、平成16年に設立された。

「この地域に無いものを、無理にやるよりは、あるものを掘り起こしながら、その特性を活かそう」という明確なコンセプトの中で、歯舞水産物のブランド化への取組みや、「産地市場セリ見学」「コンブ加工場見学」「組合食堂朝食受入」「漁家民泊受入」「クルーズ体験」などを通じた交流人口の増加による活性化に向けた活動が行われている。

近年は外国人バードウォッチャー等が増加していることから、多言語翻訳機の導入やホームページに外国語の案内を掲載するなど、インバウンドを受け入れるための取組も行っている。

更に活動の内容を全国で講演活動を行うなど積極的に情報発信しており、特に漁業振興と観光振興による地域活性化と地域所得向上を目指して取り組んでいる、「漁業体験」や「漁家民泊」を地域一体となって行っているところは、先進的な取組みである。

これらの取組の効果が、地域全体に広がっていくことを大いに期待する。